

標準塗装仕様書

1. 錆の無い状態の金属屋根	亜鉛鉄板・カラートタン	
2. 表面に部分錆の金属屋根	亜鉛鉄板・カラートタン	
3. 錆が広範囲の金属屋根	亜鉛鉄板・カラートタン	
4. 非鉄金属の金属屋根	ガルバニウム鋼板・ステンレス・アルミニウム・カラー鋼板	
5. スレート屋根	コロニアル・カラーベスト	
6. 外壁	各種水性仕上材	
7-1. 屋上防水層	砂付きアスファルトルーフィング	(未塗装)
7-2. 屋上防水層	砂付きアスファルトルーフィング	(塗り替え)
8-1. 屋上防水層	加硫ゴムシート	(未塗装)
8-2. 屋上防水層	加硫ゴムシート	(塗り替え)
9. 屋上防水層	ウレタンゴム系	(塗り替え)
10. 屋上防水層	FRP	(塗り替え)
11. 屋上防水層	塩ビシート	(未塗装)
12. 屋上防水層	ポリマーセメント	(未塗装)
13. 歩道・駐車場	アスファルトコンクリート	(未塗装)
14. 歩道・駐車場・プールサイド	コンクリート	(未塗装)

標準塗装仕様 1

錆の無い状態

金属屋根の場合：亜鉛鉄板・カラータン (未塗装)

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 ・ 表面のごみ、汚れ等は高圧水洗を行い、よく乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	クールネスプライマー OM F	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.13~0.15	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	クールネスコート HT-A	・ 刷毛	—	0.20	4 時間以上 (23°C)
		HT-AS	・ ローラー			
		HT-AU	・ エアレススプレー			
4	上塗り	クールネスコート HT-A	・ 刷毛	—	0.20	
		HT-AS	・ ローラー			
		HT-AU	・ エアレススプレー			
5	養生					

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで充分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し (HT-A・HT-AS)
充分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(HT-A・HT-AS 希釈：清水 0~5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ クールネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30~35 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 2

錆のある状態

表面に若干点錆、部分錆がある金属屋根の場合：亜鉛鉄板・カラータン (未塗装)

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錆は、ワイヤーブラシなどでケレンし、落として下さい。 ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 ・ 表面のごみ、汚れ等は高圧水洗を行い、よく乾燥させて下さい。 			
2	プライマー	フィットコート ACP-100 (タッチアップ) ケルネスプライマー OM ケルネスプライマー F	—	0.13~0.15	2時間以上 (23°C)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS HT-AU	—	0.20	4時間以上 (23°C)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS HT-AU	—	0.20	
5	養生				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し (HT-A・HT-AS) 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (HT-A・HT-AS 希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を1缶(12kg)で2回塗り 約30~35㎡目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 					

標準塗装仕様 3

錆のある状態

錆が広範囲にわたる金属屋根の場合：亜鉛鉄板・カラータン (未塗装)

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錆は、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃して下さい。 ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 ・ 表面のごみ、汚れ等は高圧水洗を行い、よく乾燥させて下さい。 			
2	プライマー	フィットコート ACP-100	—	0.13	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS HT-AU	・ 刷毛 ・ ロールー ・ エアレスプレー	— 専用シンナー(10)	0.20 4 時間以上 (23°C)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS HT-AU	・ 刷毛 ・ ロールー ・ エアレスプレー	— 専用シンナー(10)	0.20
5	養生				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し (HT-A・HT-AS) 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにロールーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (HT-A・HT-AS 希釈：清水 0～5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30～35 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 					

標準塗装仕様 4

非鉄金属屋根の場合：ガルバニウム鋼板・ステンレス・アルミニウム・カラー鋼板（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 ・ 表面のごみ、汚れ等は高圧水洗を行い、よく乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	ケルネス [®] プライマー OM	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.13~0.15	2 時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	4 時間以上 (23℃)
		HT-AS		—		
		HT-AU		専用シンナー(10)		
4	上塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	
		HT-AS		—		
		HT-AU		専用シンナー(10)		
5	養生					

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで充分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し (HT-A・HT-AS)
充分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(HT-A・HT-AS 希釈：清水 0~5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30~35 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 5

スレート屋根の場合：コロニアル・カラーベスト（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・表面のごみ、泥、苔、かび及劣化した表層、[※]フコキョウ層を高圧水洗で除去し清掃する。水洗後は1日以上置き、十分に乾燥させる。 ・油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 			
2	プライマー	ケルネスプライマー F ケルネスプライマー HT-E	・刷毛 ・ローラー ・エアレスプレー	— 0~5(清水)	0.15 2時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS	・刷毛 ・ローラー ・エアレスプレー	—	0.20 3時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS	・刷毛 ・ローラー ・エアレスプレー	—	0.20
5	養生				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ケルネスコート塗料を1缶(12kg)で2回塗り 約30~35㎡目安に塗布する。 ・一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 <p style="margin-top: 10px;">注意事項</p> <p>※屋根の塗り替えによって小口部を塗り固めてしまいますと、侵入した雨水は排出されずに内部にたまりやすくと雨漏りにつながる場合があります。必ず皮スキやカッター等で縁切りを行って下さい。</p>					

標準塗装仕様 6

外壁：各種水性仕上材・リシン・弾性系仕上材・モルタル

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧塗膜のふくれ、浮き等の劣化、塗膜はケレン工具を用いて除去し、 チョーキング粉、ほこり、ごみ等を高圧水洗にて除去する。 水洗後は充分乾燥させる。 ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 				
2	プライマー	ケルネスプライマー HT-E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	0~5 (清水)	0.15~0.20	2 時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	3 時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A HT-AS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	
5	養生					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで充分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し 充分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30~35 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 						

標準塗装仕様 7-1

屋上防水層の場合：新設 砂付きアスファルトルーフィング（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ・ホコリ・付着物を取り除き、被塗面を清掃して下さい。 ・ 被塗面は乾燥させて下さい。 				
2	プライマー					
3	下塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.30	3 時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.20	
5	養生					

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し
十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(希釈：清水 0～5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 24 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 7-2

屋上防水層の場合：砂付きアスファルトルーフィング（塗り替え）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・表面のごみ、泥、苔や旧塗膜の割れ、浮き、剥れなどはケレン工具を用いて除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 水洗後は、よく乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	ケルネス [®] プライマー HT-E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	0~5 (清水)	0.20	2 時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	—	0.30	3 時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	—	0.20	
5	養生					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにロールーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 24 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 						

標準塗装仕様 8-1

屋上防水層の場合：新設 加硫ゴムシート （未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ・ホコリ・付着物を取り除き、被塗面を清掃して下さい。 ・ 被塗面は乾燥させて下さい。 			
2	プライマー	ケルネス [®] プライマー EP	—	0.15	2 時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A	—	0.20	3 時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A	—	0.20	
5	養生				

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで充分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し
充分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(希釈：清水 0～5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30～35 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 8-2

屋上防水層の場合：新設 加硫ゴムシート （塗り替え）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・表面のごみ、泥、苔や旧塗膜の割れ、浮き、剥れなどはケレン工具を用いて除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 水洗後は、よく乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	ケルネス [®] プライマー HT-E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	0~5 (清水)	0.15	2 時間以上 (23℃)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	—	0.20	3 時間以上 (23℃)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ロールー 	—	0.20	
5	養生					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにロールーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30~35 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 						

標準塗装仕様 9

屋上防水層の場合：ウレタンゴム系（塗り替え）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・表面のごみ、泥、苔や旧塗膜の割れ、浮き、剥れなどはケレン工具を用いて除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 水洗後は、よく乾燥させて下さい。 			
2	プライマー	ケルネス [®] プライマー MP RB	・ 刷毛 ・ ローラー	— 0.15	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A ----- HT-AU	・ 刷毛 ・ ローラー	— ----- 専用シンナー(10)	4 時間以上 (23°C)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A ----- HT-AU	・ 刷毛 ・ ローラー	— ----- 専用シンナー(10)	
5	養生				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し (HT-A) 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (HT-A 希釈：清水 0～5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30～35 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 					

標準塗装仕様 10

屋上防水層の場合：FRP（塗り替え）

工程		塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全面サンドペーパー等で目荒しを行って下さい。 ・ 表面のごみ、泥、苔や旧塗膜の割れ、浮き、剥れなどはケレン工具を用いて除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 ・ 水洗後は、よく乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	クールネス [®] プライマー MP RB	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.15	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	クールネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.20	4 時間以上 (23°C)
		HT-AU		専用シンナー(10)		
4	上塗り	クールネスコート HT-A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.20	
		HT-AU		専用シンナー(10)		
5	養生					

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し (HT-A)
十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(HT-A 希釈：清水 0～5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ クールネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30～35 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 1 1

屋上防水層の場合：塩ビシート（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	・表面のごみ、泥、苔等の付着物を除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 水洗い後はよく乾燥させて下さい。				
2	プライマー	クールネス [®] プライマー MP RB	・刷毛 ・ローラー	—	0.15	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	クールネスコート HT-A	・刷毛 ・ローラー	—	0.20	4 時間以上 (23°C)
4	上塗り	クールネスコート HT-A	・刷毛 ・ローラー	—	0.20	
5	養生					
<ul style="list-style-type: none"> ・使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0～5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・クールネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30～35 m²目安に塗布する。 ・一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 						

標準塗装仕様 12

屋上防水層の場合：ポリマーセメント系（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表面のごみ、泥、苔等の付着物を除去し、高圧水洗で被塗面を清掃して下さい。 水洗い後はよく乾燥させて下さい。 ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤等で完全に除去して下さい。 				
2	プライマー	ケルネスプライマー HT-E ----- F MP	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	0~5(清水) ----- —	0.20	2 時間以上 (23°C)
3	下塗り	ケルネスコート HT-A HT-AU 可 (但し、プライマー-F・MP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	3 時間以上 (23°C)
4	上塗り	ケルネスコート HT-A HT-AU 可 (但し、プライマー-F・MP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20	
5	養生					

- ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで充分に混ぜて下さい。
- ・ 原則希釈無し
充分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。
- ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。
(HT-A 希釈：清水 0~5%以内)
過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。
塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。
- ・ ケルネスコート塗料を 1 缶 (12kg) で 2 回塗り 約 30~35 m²目安に塗布する。
- ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。
- ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。

標準塗装仕様 13

歩道・駐車場の場合：アスファルトコンクリート（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ・ホコリ、土砂を取り除きます。 ・ 素地に油類が残っている場合は、中性洗剤を用いて油分を除去し水洗いをして乾燥させます。 ・ 舗装表面は、十分に乾燥させて下さい。 			
2	プライマー	クールネブプライマー-HT-WP	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	0~10 (清水)	0.20 2時間以上 (23℃)
3	下塗り	クールネスコート HT-WS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.30 3時間以上 (23℃)
4	上塗り	クールネスコート HT-WS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレススプレー 	—	0.20
5	養生				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ クールネスコート塗料を1缶(12kg)で2回塗り 約24㎡目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 					

標準塗装仕様 14

歩道・駐車場・プールサイドの場合：コンクリート（未塗装）

工程	塗料名	施工方法	希釈量 (重量%)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔	
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素地目荒らしのサンディング(ポリッシャー等)の処理を行い、素地に付着しているレイタンス、ゴミ、ホコリ等を除去し清掃して下さい。 ・ 油脂類はシンナー又は中性洗剤で完全に除去して下さい。 ・ 被塗面は十分乾燥させて下さい。 				
2	プライマー	ケルネスプライマー-F	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー 	—	0.20	2 時間以上 (23°C)
		ケルネスプライマー-HT-WP	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアレスプレー 	0~10 (清水)		
3	下塗り	ケルネスコート HT-WS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレスプレー 	—	0.20	3 時間以上 (23°C)
4	上塗り	ケルネスコート HT-WS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷毛 ・ ローラー ・ エアレスプレー 	—	0.20	
5	養生					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前に必ず攪拌機にて均一になるまで十分に混ぜて下さい。 ・ 原則希釈無し 十分に攪拌すると、クリームのように柔らかでなめらかにローラーが回り作業性は良好です。 ・ 夏季における塗装は乾燥が著しく早くなりますので、作業性が劣る場合のみ希釈して下さい。 (希釈：清水 0~5%以内) 過度の希釈は熱抑制の効果が低かったり、色ムラが生じます。 塗布量を厳守して下さい。薄すぎると効果が低下します。 ・ ケルネスコート塗料を1缶(12kg)で2回塗り 約30~35 m²目安に塗布する。 ・ 一度の厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となり、ひび割れが発生します。 ・ 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後、行って下さい。 						